

首長向けシンポジウム（PFS/SIB首長セミナー）

開催概要

名称：PFS/SIB首長セミナー
日時：令和5年11月24日（金）10:00～11:00
形式：Zoomウェビナーによるオンラインセミナー形式

参加実績

- ◆ 参加者数：186名
（ウェビナー接続件数：163件）
- ◆ 首長12名参加 ※登壇者含む
（網走市、鹿部町、音威子府村、湧別町、五戸町、神崎町、八王子市、見附市、千曲市、静岡市、枚方市、松江市）

プログラム

（1）開会挨拶

・開会のあいさつ

＜内閣府特命担当大臣 加藤氏＞

（2）基調講演

・PFS/SIBの意義・効果

＜株式会社日本政策投資銀行 地域調査部長 宮川氏＞

（3）事例紹介

・八王子市におけるPFS/SIB導入の経緯・成果

＜八王子市 市長 石森氏＞

（4）パネルディスカッション

・PFS/SIB導入・検討の背景、事業取組に当たっての課題

・PFS/SIB導入で期待すること

＜パネリスト：八王子市 市長 石森氏＞

＜パネリスト：静岡市 市長 難波氏＞

＜パネリスト：枚方市 市長 伏見氏＞

＜パネリスト：松江市 市長 上定氏＞

＜モデレーター：内閣府 成果連動型事業推進室 参事官 中井川氏＞

（5）閉会挨拶

・閉会の挨拶

＜内閣府大臣官房審議官 笠尾氏＞

PFS/SIB 首長セミナー（主催：内閣府）

官民が連携して社会課題の解決を成長のエンジンと捉え、新しい資本主義の実現に向けた取組が加速する中、新たな官民連携の手法であるPFS/SIBの活用が広がっています。本セミナーでは、既にPFS/SIBに取り組んでいる自治体、これからの取組を検討している自治体のトップの皆様から、それぞれの視点より知見・ノウハウを共有いただきます。地方公共団体、民間事業者、地域金融機関など、様々な立場において社会課題の解決に取り組まれている皆様のご参加をお待ちしております。

- 日時 11月24日（金）10:00～11:00（※9:30受付開始）
- 開催方法 オンライン形式（Zoom）
- 対象者（定員500名 ※先着順）
 - ・ PFS/SIB導入に関心を持つ地方公共団体職員
 - ・ PFS/SIBに関心を持つ民間事業者
 - ・ 地域金融機関等
- 参加申込方法（11月17日（金）申込〆切）
URLもしくは2次元コードからお申込み下さい。
<https://forms.office.com/r/gjRNkxgw2D>



登壇者

<p>挨拶</p> <p>内閣府特命担当大臣 加藤 勉 大臣</p>	<p>基調講演</p> <p>講師 株式会社日本政策投資銀行 地域調査部長 宮川 暁世 氏</p> <p>テーマ PFS/SIBの意義・効果</p>
<p>事例・パネルディスカッション</p> <p>事例紹介-パネリスト 八王子市 石森 孝志 市長</p>	<p>パネリスト</p> <p>枚方市 伏見 隆 市長</p>
<p>パネリスト</p> <p>静岡市 難波 尚司 市長</p>	<p>パネリスト</p> <p>松江市 上定 昭仁 市長</p>

■ 問合せ先
株式会社 YMFG ZONE アロウ 地域マネジメント事業部（担当：杉塚、置原）
TEL：083-223-4202 E-Mail：ppppf@ymfg.ymzcp.co.jp

講演・パネルディスカッション要旨

■ 基調講演

「PFS/SIBの意義・効果」

株式会社日本政策投資銀行 地域調査部長 宮川氏

- ◆ 会社紹介及び社会課題や地域課題の解決に向けた主な取組
- ◆ 社会的インパクトとは
- ◆ ファイナンスへの社会的インパクト評価の活用について
- ◆ 官民連携への社会的インパクト評価の活用について
- ◆ 今後のPFS/SIBの活用の方向性について

■ パネルディスカッション①

（PFS/SIB導入・検討の背景、事業取組に当たっての課題）

【松江市 市長 上定氏】

・「松江式ワーケーション（ワーク+コミュニケーション）推進事業」、SIBによる介護予防事業の検討について

【静岡市 市長 難波氏】

・市政運営方針、「共創」「共働」を軸とした静岡モデルについて
・PFS導入に向けた取組（背景・課題・対応策）

【枚方市 市長 伏見氏】

・高齢者社会参加型のPFS事業による健康寿命の延伸
・PFS事業「SPRINGひらかた」の事業概要

■ 事例紹介

「八王子市におけるPFS/SIB導入の経緯・成果」

八王子市 市長 石森氏

- ◆ 八王子市の概況、がん検診について
- ◆ がん検診におけるPFS/SIB導入の背景について
- ◆ 官民連携事業スキームについて
- ◆ 大腸がん検診受診（SIB）と乳がん検診受診（PFS）の成果
- ◆ PFS/SIB事業実施に関する提言

■ パネルディスカッション②

（PFS/SIB導入で期待すること）

【八王子市 市長 石森氏】

・同じ行政課題を持つ基礎自治体が1つの連合体となってPFS事業を発注できれば、事業規模の確保につながる（民間参入のインセンティブ）
・PFSの導入を検討するに当たっては、アウトカム指標を経済評価することが重要

【松江市 市長 上定氏】

・効果的な官民連携を実現するため、民間事業者の参入について、インセンティブとなる仕組みづくりが重要

【静岡市 市長 難波氏】

・先事例を参考にPFS導入を検討（特定健診、糖尿病、就労支援）

【枚方市 市長 伏見氏】

・PFS導入によって、事業の実効性を向上させたい（就労支援での活用）

首長向けシンポジウム（PFS/SIB首長セミナー）

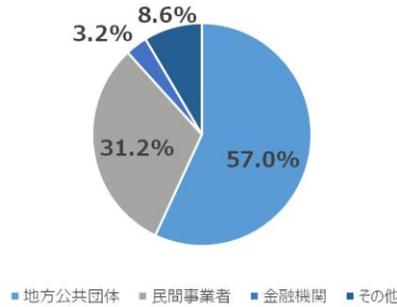
アンケート実施概要

◆ 回答件数

93件

◆ 回答者所属種別

地方公共団体：57.0%
 民間事業者：31.2%
 金融機関：3.2%
 その他：8.6%



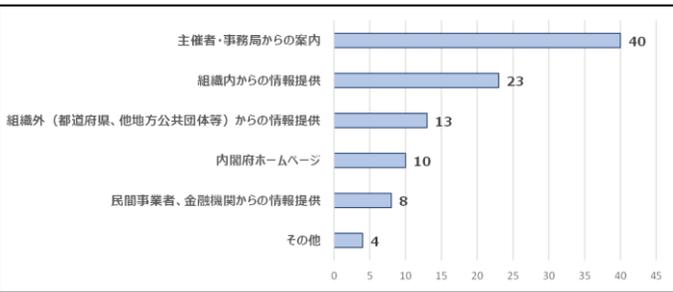
◆ アンケート設問

- Q1：所属情報
- Q2：シンポジウム開催を知った情報源
- Q3：参加の動機
- Q4：PFS/SIBの検討状況
- Q5：関心のある事業分野
- Q6：取り上げてほしいテーマ・内容
- Q7：意識の変化
- Q8：Q7の回答理由
- Q9：意見・感想

アンケート結果

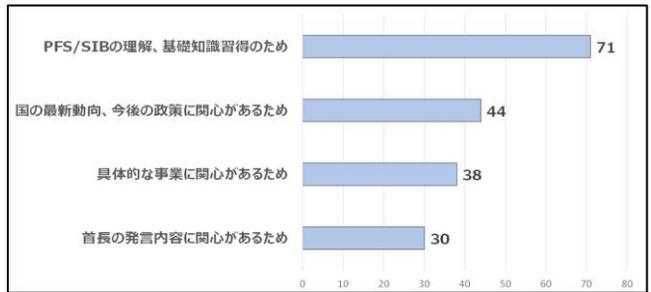
シンポジウム開催を知った情報源（n=93） ※複数回答可

「主催者・事務局からの案内」が最も多く、次いで「組織内からの情報提供」が多い。



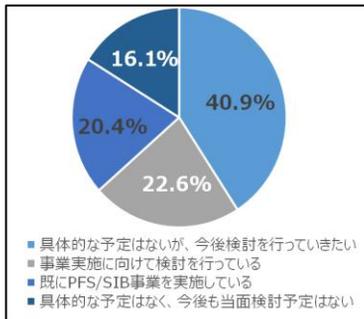
参加の動機（n=93） ※複数回答可

「PFS/SIBの理解、基礎知識習得のため」が最多であり、多くの参加者が理解醸成段階であると考えられる。



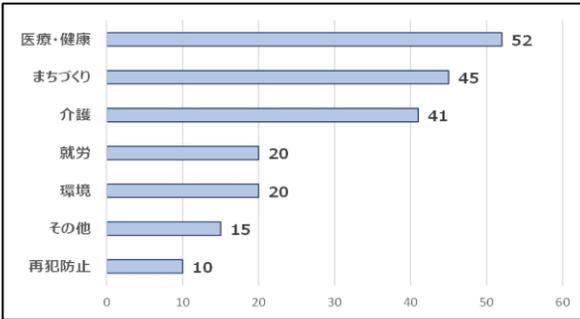
PFS/SIB検討状況（n=93）

具体案件の無い参加者が多いが、PFS/SIB実施に向けた意向は高い。



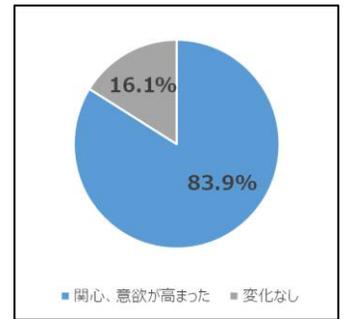
関心のある事業分野（n=93） ※複数回答可

比較的先行事例の多い「医療・健康」や「介護」のほか「まちづくり」への関心も高く、今後の活用が期待されている。



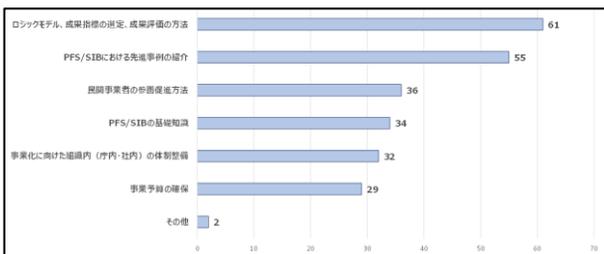
意識の変化（n=93）

80%以上においてPFS/SIBに対する関心、意欲の変化が生まれている。



取り上げてほしいテーマ・内容（n=93） ※複数回答可

ロジックモデルや成果指標の選定等の内容を求める意見が多く、次いで「PFS/SIBにおける先進事例の紹介」が多い。



自由記述（意識変化の理由／全体を通じての意見・感想）

今後も継続的な事例提供や普及啓発を希望するといった要望が多い結果となった。

- ◆ PFS/SIBは、新しい特異的な取組だと考えていたが、今回のセミナーに参加し、事業者のやる気を促す意味で当然の取組なのだと認識を改めた
- ◆ 各行政機関のトップがリーダーシップを発揮して推進されているのがよく分かった
- ◆ 本市においてはまだまだ性能発注という考え方が薄いため、機運を醸成しなければならぬと意を新たにしたい
- ◆ 各都市の取り組みについて知ることができ、大変参考になった
- ◆ 面倒なことを粘り強く対応していく組織（人）が重要だと感じた
- ◆ 事業が完了した自治体の話を聞いてみたい

セミナー（PFS/SIB実務者セミナー2024）

開催概要

名称：PFS/SIB首長セミナー
日時：令和6年2月14日（水）14:00～15:30
形式：Zoomウェビナーによるオンラインセミナー形式

参加実績

◆ 参加者数：218名
（ウェビナー接続件数：187件）

プログラム

（1）PFS事業の取組状況及びガイドライン改訂の説明

＜内閣府 成果連動型事業推進室 参事官補佐 前田 氏＞

（2）導入事例の紹介

- ・前橋市の官民連携まちづくりとSIBの取組みについて
＜前橋市 都市計画部市街地整備課官民連携まちづくり係 副主幹 濱地 氏＞
- ・名古屋市におけるPFSによる環境配慮行動促進モデル事業
＜名古屋市 環境企画課施策推進係 係長 岩田 氏＞
- ・女性活躍推進におけるPFS/SIBの検討状況と課題
＜島根県 政策企画局女性活躍推進課 課長補佐 樋口 氏＞
＜島根県 政策企画局政策企画監室 副政策企画監 陶山 氏＞

（3）関係府省庁におけるPFS関連施策の取組説明

- ・地方公共団体向け支援メニューについて
＜内閣府 成果連動型事業推進室 中村 氏＞
＜法務省 大臣官房秘書課企画再犯防止推進室 再犯防止推進第一係長 岡 氏＞
＜厚生労働省 政策統括官（総合政策担当）付政策統括室 室長補佐 横山 氏＞
＜経済産業省 ヘルスクア産業課 野原 氏＞
＜国土交通省 都市局まちづくり推進課 課長補佐 大櫛 氏＞
＜環境省 地球環境局デコ活応援隊（脱炭素ライフスタイル推進室） 室長補佐 中村氏＞

（4）閉会挨拶

- ・閉会の挨拶
＜内閣府 成果連動型事業推進室 参事官 中井川 氏＞

PFS/SIB実務者セミナー2024

参加
無料

内閣府では、PFS/SIB活用を推進するため、地方公共団体職員や民間事業者等の実務を担われる皆様を対象としたセミナーを開催しております。
本年度は、PFS関係府省庁における地方公共団体向け支援メニューの紹介に加え、先進分野の導入事例について、自治体の実務担当者から発表していただきます。

日時	2024年2月14日(水) 14:00～15:30
開催形式	オンライン形式(Zoom)
プログラム	01 開会 02 PFS事業の取組状況及びガイドライン改訂の説明 内閣府 成果連動型事業推進室 03 導入事例の紹介 まちづくり(前橋市) 環境(名古屋市) 女性活躍・働き方改革(島根県) 04 関係府省庁におけるPFS関連施策の取組説明 【地方公共団体向け支援メニューについて】 内閣府、法務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、他 05 閉会
対象者	PFS/SIB導入に関心のある地方公共団体職員、民間事業者、金融機関等
定員	200名程度
申込方法	以下の申込フォーム又は二次元コードより参加登録をお願いします。 https://forms.office.com/r/TFYHMXSDDU
申込締切	2024年2月7日(水) 17時まで
主催	内閣府
事務局	株式会社YMFZ ZONEプランニング

講演要旨

■ PFS事業の取組状況及びガイドライン改訂の説明

内閣府成果連動型事業推進室

- ・PFS/SIBの概要、PFSの現状、PFS共通のガイドライン

■ 導入事例の紹介

「前橋市の官民連携まちづくりとSIBの取組みについて」 前橋市

- ・前橋市アーバンデザイン
- ・前橋デザインコミッション
- ・馬場川通りプロジェクト
- ・SIBを導入したことによる効果、メリット

「名古屋市におけるPFSによる環境配慮行動促進モデル事業」 名古屋市

- ・PFSモデル事業実施の背景
- ・モデル事業実施までの経過
- ・ロジックモデル
- ・成果指標
- ・モデル事業の概要

「女性活躍推進におけるPFS/SIBの検討状況と課題」 島根県

- ・島根県の紹介
- ・女性活躍推進におけるPFS/SIB検討
- ・案件形成のプロセス
- ・課題と今後の方向性

■ 関係府省庁におけるPFS関連施策の取組説明

「令和6年度の内閣府の取組について」 内閣府

- ・専門家派遣事業、官民ニーズ・シズリスト作成公表
- ・案件形成支援事業、成果連動型民間委託契約方式推進交付金

「PFS/SIB実務者セミナー2024」 法務省

- ・「再犯防止」を取り巻く状況
- ・法務省におけるPFS/SIBの取組、地方公共団体向け支援メニュー

「厚生労働省における成果連動型民間委託契約の取組み」 厚生労働省

- ・各種交付金、ハロートレーニング（公共職業訓練・求職者支援訓練）
- ・PFSによる保健事業推進の背景、大規模実証事業 14実証事業

「経済産業省におけるPFS/SIB事業概要」 経済産業省

- ・経済産業省のPFS/SIB推進目的、案件形成支援、Eビデンス整備や手引きの作成
- ・PFS/SIB普及フェーズにおける現在地と今後の展開

「まちづくり分野におけるPFS（成果連動型民間委託契約方式）の活用」 国土交通省

- ・まちづくり分野におけるPFSの活用
- ・評価指標の充実化

「「デコ活」脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」 環境省

- ・「デコ活」推進事業（新しい補助金）、デコ活応援団の概要
- ・くらしの10年ロードマップ

セミナー（PFS/SIB実務者セミナー2024）

アンケート実施概要

◆ 回答件数

111件

◆ 回答者所属種別

地方公共団体：67.6%
 民間事業者：25.2%
 金融機関：0.9%
 その他：6.3%



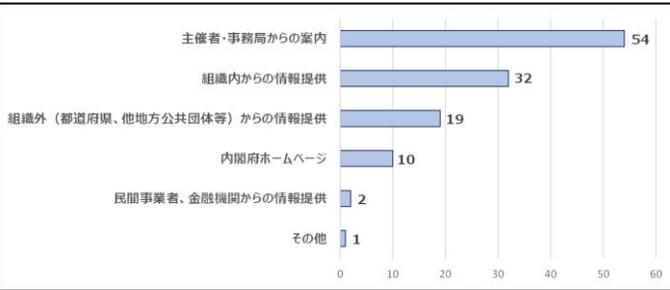
◆ アンケート設問

- Q1：所属情報
- Q2：シンポジウム開催を知った情報源
- Q3：参加の動機
- Q4：PFS/SIBの検討状況
- Q5：関心のある事業分野
- Q6：取り上げてほしいテーマ・内容
- Q7：意識の変化
- Q8：Q7の回答理由
- Q9：意見・感想

アンケート結果

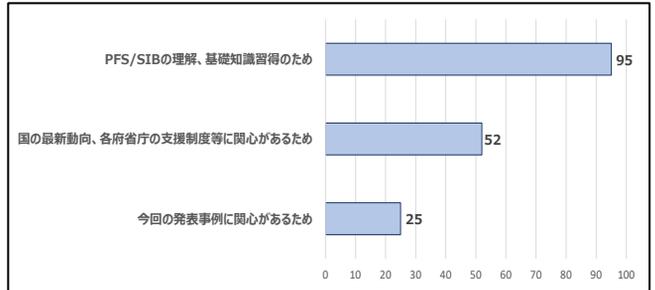
セミナー開催を知った情報源（n=111）※複数回答可

「主催者・事務局からの案内」が最も多く、次いで「組織内からの情報提供」が多い。



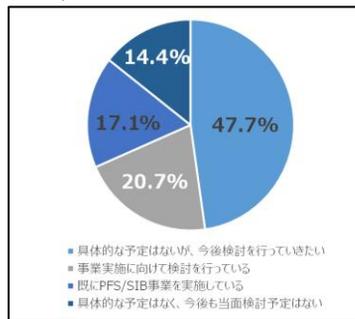
参加の動機（n=111）※複数回答可

「PFS/SIBの理解、基礎知識習得のため」が最多であり、多くの参加者が理解醸成段階であると考えられる。



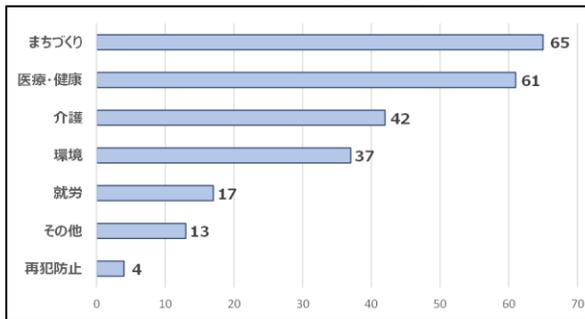
PFS/SIB検討状況（n=111）

具体案件の無い参加者が多いが、PFS/SIB実施に向けた意向は高い。



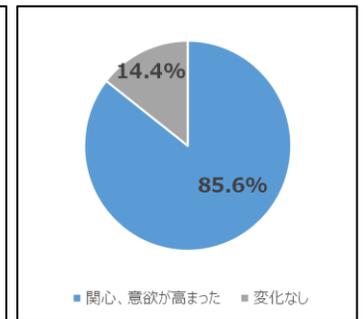
関心のある事業分野（n=111）※複数回答可

今後はまちづくり分野や環境分野への活用も期待しつつ、既に比較的事例の多い「医療・健康」「介護」も関心が高い。



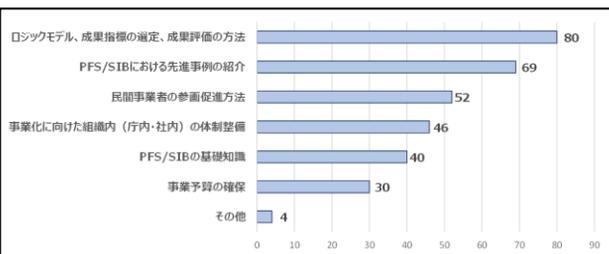
意識の変化（n=111）

80%以上においてPFS/SIBに対する関心、意欲の変化が生まれている。



取り上げてほしいテーマ・内容（n=111）※複数回答可

ロジックモデルや成果指標の選定等の内容を求める意見が多く、次いで「PFS/SIBにおける先進事例の紹介」が多い。



自由記述（意識変化の理由／全体を通じての意見・感想）

シンポジウム同様、今後も継続的な事例提供や普及啓発を希望するといった要望が多い結果となった。

- ◆ 各省庁の取組み説明があり、横くして非常に良かった
- ◆ 健康・医療以外に様々な分野で取り入れられており、本市でも導入の可能性が広がったと感じられる
- ◆ 成果指標の選定、成果評価の方法は統一の指標があるわけではないため、設定に苦慮している。これからも情報収集していきたい。
- ◆ コスト削減ではなく、価値創造（インパクト）に支出できるかがポイントになってくると思う
- ◆ 基礎的な知識が庁内にも浸透しておらず、検討の契機がつかめないの、定期的にセミナーを行っていただくなど、継続的な支援をいただけるとありがたい